

第三者研究会での意見の概要及び意見に対する対応状況

1. 第三者研究会の名称	
名称：「次世代マルチモーダル ITS 研究会」(第1回：平成15年1月15日)	
赤羽弘和 千葉工業大学教授	
森川高行 名古屋大学大学院教授	
羽藤英二 愛媛大学助教授	
植原啓介 慶応義塾大学大学院特別研究専任講師	
2. 第三者研究会での意見の概要及び対応	
意見の概要	意見に対する対応状況
リアルタイム混雑予測については、データが膨大になるとリアルタイムで計算している時間がないため、いわゆる「データシミュレーション」(リアルタイムなデータを外挿し、簡単な原理で数値計算による増殖を行う)でよいが、約3万人の観客に対してモニタ100名弱では「データシミュレーション」としても少なすぎるのではないか？	いわゆる「論理シミュレーション」(行動原理の積み上げ)で精度が出るものは良いが、そうでないものは「データシミュレーション」で対応せざるを得ない。今回の実証実験で行った交通混雑のシミュレーションは、リアルタイム型の人系の交通シミュレーションを用い、感知器などのない場所でのポータブルな情報配信システムを行った点で評価に値するものである。